

各 位

会 社 名 エイケン工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 早馬 義光
 (コード番号: 7265 東証 JASDAQ)
 問 合 せ 先 専 務 取 締 役 池 田 文 明
 (TEL 0537-86-3105)

2020年10月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2020年10月期第2四半期決算において、2019年12月6日に公表いたしました2020年10月期第2四半期累計期間(2019年11月1日~2020年4月30日)の業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年10月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異(2019年11月1日~2020年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	2,987	226	235	169	166	60
実績値(B)	2,763	162	156	116	114	85
増減額(B-A)	△ 224	△ 64	△ 78	△ 52	—	
増減率(%)	△ 7.5	△ 28.3	△ 33.5	△ 31.0	—	
(ご参考)前第2四半期実績 (2019年10月期第2四半期)	2,923	234	245	183	181	37

2. 差異理由

売上高につきましては、フィルター部門の国内売上高は同業者向けが増加しました。輸出売上は東南アジア向けが大幅に減少しました。その結果、予想値に比べ2億24百万円減少し、27億63百万円(予想比7.5%減)となりました。

営業利益につきましては、売上高が減少したこと及び労務費が増加したこと等により製品売上原価率が上昇したことが要因となり、予想値に比べ64百万円減少し、1億62百万円(予想比28.3%減)となりました。

経常利益につきましては、営業利益が減少したこと及び時価の下落により投資有価証券評価損を15百万円計上したことが要因となり、予想値に比べ78百万円減少し、1億56百万円(予想比33.5%減)となりました。

四半期純利益につきましては、経常利益が減少したことが要因となり、予想値に比べ52百万円減少し、1億16百万円(予想比31.0%減)となりました。

なお、2020年10月期(通期)の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える影響は、一定の前提を踏まえて検討中のため、現時点では2019年12月6日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

今後、開示が必要であると判断された時点で、速みやかにお知らせいたします。

【参考】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2020年10月期（通期）	百万円 6,020	百万円 452	百万円 472	百万円 339	円 銭 334 11

（注）上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上